

## 内水面重要生物増殖試験事業

### (2) 粟野川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査

畑間俊弘・金井大成・松尾圭司・田原栄一郎・荒木 晶\*<sup>1</sup>

#### 目 的

県内主要河川の魚類及び十脚甲殻類生息状況について、現状を把握し、河川環境保全の基礎資料とすることを目的として、平成12年度から毎年これらの魚介類調査を実施している<sup>1-7)</sup>。本年度は対象河川として粟野川を選定して調査を行ったので結果を報告する。

#### 調査方法

粟野川は下関市豊田町内に端を発し、大田川、空路子川、一ノ俣川等の支流を集めて、西北に流れ、油谷湾で日本海に注ぐ流路延長約74.7km、流域面積約185.9km<sup>2</sup>の二級河川である。粟野川水系では支流の2カ所の砂防ダム以外にダムはない。本流、各支流には農・工業及び上水取水のための堰堤、頭首工が数多く設置されている。

調査場所は図1に示したとおり11カ所で行った。

調査方法は刺網、投網、サデ網、タモ網、テンツキ等

の網漁具類とカニ籠、エビ籠の籠類及びセルピンを用いた。また、大型魚食性魚を対象に延縄（幹糸長30m、枝鉤数30本、チヌ鉤4号）を用いた。誘因餌料としてカニ籠は冷凍サバ及びコノシロ、エビ籠は冷凍オキアミ、セルピンは市販のコイ釣用配合飼料、延縄は冷凍アユの切り身を用いた。その他に例年同様に肉眼及び水視眼鏡による目視調査も併用した。

St.1は平成19年4月18日、6月26日、6月27日、9月21日、10月4日、10月18日、10月24日、11月1日、平成20年2月25日、3月28日の10回調査を行った。内訳は、平成19年4月18日の調査は堰堤直下及び魚道内の遡上魚類を対象に投網、タモ網を用い調査員3名で1時間の捕獲調査を行った。10月及び11月は主にサケの遡上調査を行った。平成20年2月25日、3月28日の調査は200Wガスカートリッジ投光器5基を使用し、刺網、タモ網を用いて調査員5名で各3時間の夜間捕獲調査を行った。

その他のSt.2からSt.11までは平成19年6月26日から6月28日に調査を実施した。

採集した魚類及び十脚甲殻類について、種名が明らかかなものは現場で種ごとの個体数と魚類及びエビ類の全長、カニ類の全甲幅を測定した。測定後これらの採集生物は原則として現場で放流したが、種名が不明なもの、標本に使用する個体は、活かした状態若しくは10%ホルマリン水で固定し、当研究センターに持ち帰り、後日同定及び大きさの測定を行った。

なお、同定は、魚類については中坊<sup>8)</sup>により、川那部ら<sup>9)</sup>も参考にした。十脚甲殻類については浜野<sup>10)</sup>らによった。

#### 結 果

各調査場所における採捕または目視調査結果を表1に、各調査場所において確認された動物の学名及び回遊型を表2に示した。また、調査で確認された希少な動物を環境省<sup>11)</sup>及び山口県<sup>12)</sup>が報告している絶滅の危険度別カテゴリーと共に表3に示した。

St.1において魚類ではウナギ、サケ、アユ、オイカ

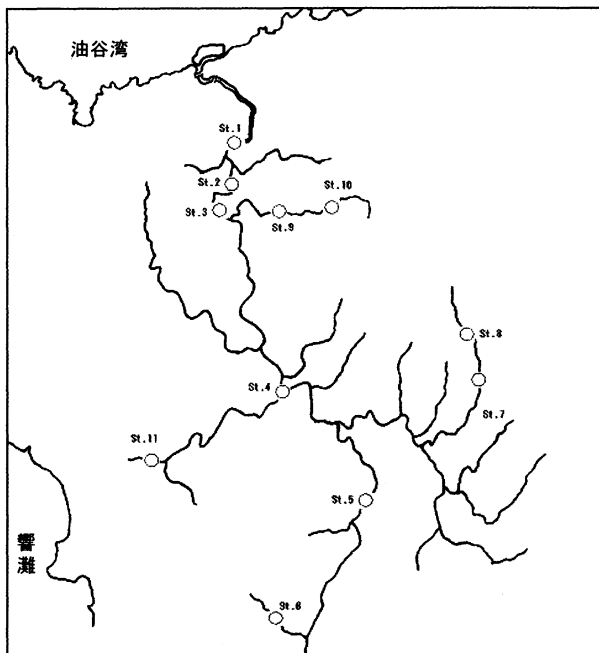


図1 調査位置図

\* 1 独立行政法人水産大学校

ワ等コイ科7種、ヤマトシマドジョウ、ヌマチチブ等ハゼ科6種、メダカ、オオクチバス、カムルチー、ナマズ、ドンコ、スズキ、ボラ、メナダの計25種、十脚甲殻類はミナミヌマエビ、ミゾレヌマエビ、ヒメヌマエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、モクズガニの6種が見られた。このうち通し回遊性種はウナギ、サケ、アユ、ヌマチチブ等ハゼ科6種、ミゾレヌマエビ、ヒメヌマエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、モクズガニの14種であった。絶滅の恐れのある動物としてウナギ、サケ、ヤリタナゴ、ヤマトシマドジョウ、シロウオ、メダカ、ヒメヌマエビの7種が確認された。

St.2において魚類ではウナギ、アユ、オイカワ等コイ科3種、ヤマトシマドジョウ、イシドジョウ、ドンコ、ナマズ、アカザ、ヌマチチブ等ハゼ科4種の計14種、十脚甲殻類はミナミヌマエビ、ミゾレヌマエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの5種が見られた。このうち通し回遊性種はウナギ、アユ、ヌマチチブ等ハゼ科3種、ミゾレヌマエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの9種であった。ここでは絶滅の恐れのある動物としてウナギ、ヤマトシマドジョウ、イシドジョウ、アカザの4種が確認された。

St.3において、魚類ではオイカワ等コイ科4種、ヤマトシマドジョウ、ギギ、ナマズ、ドンコ、ヌマチチブ等ハゼ科4種の計12種を確認した。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、ミゾレヌマエビ、スジエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの6種を確認した。このうち通し回遊性種はヌマチチブ、ゴクラクハゼ、シマヨシノボリ、ミゾレヌマエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、モクズガニの7種であった。ここでは絶滅の恐れのある動物としてヤマトシマドジョウが確認された。

St.4においては魚類ではアユ、オイカワ等コイ科6種、ヤマトシマドジョウ、イシドジョウ、ギギ、アカザ、ドンコ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、オオクチバスの計15種が見られた。十脚甲殻類はミゾレヌマエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの4種が見られた。このうち通し回遊性種はアユ、シマヨシノボリ、ミゾレヌマエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの6種であった。ここでは絶滅の恐れのある動物としてアブラボテ、ヤマトシマドジョウ、イシドジョウ、アカザの4種が確認された。

St.5において、魚類ではウナギ、アユ、オイカワ等コイ科3種、ヤマトシマドジョウ、オヤニラミ、ドンコ、シマヨシノボリ、カワヨシノボリ、クロヨシノボリの計

11種が見られた。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニの3種が見られた。このうち通し回遊性種はウナギ、アユ、シマヨシノボリ、クロヨシノボリ、ミナミテナガエビ、モクズガニの6種であった。ここでは絶滅の恐れのある動物としてウナギ、ヤマトシマドジョウ、オヤニラミ、クロヨシノボリが確認された。

St.6において、魚類ではカワムツ等コイ科2種、イシドジョウ、アカザ、ドンコ、カワヨシノボリの6種が見られた。十脚甲殻類ではミナミヌマエビとサワガニが確認された。通し回遊性種は確認されなかった。ここでは絶滅の恐れがある動物としてイシドジョウ、アカザが確認された。

St.7において、魚類ではカワムツ等コイ科2種、ドンコ、カワヨシノボリの計4種が確認された。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、サワガニ、モクズガニの計3種が確認された。通し回遊性種はモクズガニが確認された。

St.8において、魚類ではカワムツ等コイ科5種、アカザ、ドンコ、カワヨシノボリ、カジカ、オオクチバスの計10種が確認された。十脚甲殻類はサワガニ、ミナミヌマエビの2種が確認された。通し回遊性種は確認されなかった。

St.9において、魚類ではウナギ、カワムツ、イシドジョウ、カワヨシノボリ等ハゼ科3種の計6種が確認された。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、ヤマトヌマエビ、サワガニ、モクズガニの4種が確認された。通し回遊性種はウナギ、オオヨシノボリ、クロヨシノボリ、ヤマトヌマエビ、モクズガニの5種が確認された。ここでは絶滅の恐れがある動物としてウナギ、イシドジョウ、クロヨシノボリが確認された。

St.10において、魚類ではカワムツ等コイ科2種、イシドジョウ、カワヨシノボリ、オオクチバス、ブルーギルの計6種が確認された。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、サワガニが確認された。通し回遊性種は確認されなかった。ここでは絶滅の恐れがある動物としてイシドジョウが確認された。

St.11において、魚類ではカワムツ、ドンコ、カワヨシノボリの計3種が確認された。十脚甲殻類はミナミヌマエビ、サワガニ、モクズガニの3種が確認された。通し回遊性種はモクズガニが確認された。

なお、栗野川には第5種共同漁業権が免許されており、現在の漁業権に基づく義務放流魚種としてアユ、コイ、フナ、ウナギ、モクズガニがあり、流域各所で放流実施されている。過去にはマス類が漁業権対象種に設定され、アマゴの放流が行われていたが今回の調査では確認する

ことは出来なかった。

また、今回St.9で確認されたヤマトヌマエビの県内の記録については、1996年に浜野らが実施した調査<sup>14)</sup>で瀬戸内海の周防大島町の河川で1個体の採集報告がある。また、日本海側河川で行われた稚エビ調査<sup>13)</sup>で少数ではあるが稚エビの加入が確認されたが、成体は確認されていない。今回の記録は山口県日本海側でのヤマトヌマエビ成体の初記録と思われる。

その他調査で興味深かったのは近隣の河川では普通種として確認される事が多いムギツクを目視観察でも確認することができなかった。

調査に際し、粟野川漁業協同組合監視員からの聞き取りでは様々な魚類の生息情報があった。なかでもカマキリとカワヤツメと思われる魚類の情報があったが、今回の調査で確認できなかった。

## 文 献

- 1) 大橋 裕・畑間俊弘・金井大成 (2002) : 阿武川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成12年度山口県水産研究センター事業報告, 234-242.
- 2) 大橋 裕・安部 謙・金井大成・高橋哲也 (2003) : 厚東川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成13年度山口県水産研究センター事業報告, 162-166.
- 3) 大橋 裕・金井大成・松尾圭司・野村太郎 (2003) : 榎野川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成14年度山口県水産研究センター事業報告, 192-195.
- 4) 大橋 裕・吉松隆司・金井大成・檜山節久・野村太郎・畑間俊弘 (2004) : 佐波川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成15年度山口県水産研究センター事業報告, 229-232.
- 5) 大橋 裕・畑間俊弘・廣本和正・和西昭仁・金井大成・高田茂弘 (2005) : 島田川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成16年度山口県水産研究センター事業報告, 195-198.
- 6) 畑間俊弘・多賀 茂・和西昭仁・金井大成・魚津勝 (2006) : 厚狭川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成16年度山口県水産研究センター事業報告, 155-158.
- 7) 畑間俊弘・松野 進・内田喜隆・金井大成・松尾圭司 (2007) : 深川川に生息する魚類及び十脚甲殻類調査. 平成17年度山口県水産研究センター事業報告, 231-236.
- 8) 中坊徹次編 (2000) : 日本産魚類検索, 第2版. 東海大学出版会, 1748pp.
- 9) 川那部浩哉・水野信彦編 (2001) : 改訂版日本の淡水魚. 山溪カラー名鑑, 山と溪谷社, 719pp.
- 10) 浜野龍夫・鎌田正幸・田辺 力 (2000) : 徳島県における淡水産十脚甲殻類の分布と保全. 徳島県立博物館研究報告, 10, 1-47.
- 11) 環境省 (2007/8/3現在) : レッドリスト汽水・淡水魚類 (<http://www.env.go.jp/nature/>).
- 12) 山口県 (2002) : レッドデータブックやまぐち, 山口県環境生活部自然保護課, 156.
- 13) 浜野龍夫・井手口佳子・中田和義 (2005) : 山口県西田川における両側回遊性エビ類の幼生の流下と稚エビの加入. 水産増殖, 53 (4), 439-446
- 14) 浜野龍夫他 (1996) : 未発表

表1 採集された魚類及び十脚甲殻類

St\項目	分類群	科	名	標準和名	採集個体数	全長 (カニの場合は全甲幅長)		
						平均全長±標準誤差 (mm)	範囲 (mm)	
1	魚類	ウナギ科	ウナギ	ウナギ	2	161.0±83.4	102~220	
		サケ科	サケ	サケ	17	127.1±250.0	30~830	
		アユ科	アユ	アユ	65	79.4±8.9	66~106	
		コイ科	オイカワ	オイカワ	オイカワ	93	80.8±27.7	20~146
			カワムツ	カワムツ	カワムツ	26	77.5±27.9	22~114
			コイ	コイ	コイ	7	460.4±142.4	156~604
			ギンブナ	ギンブナ	ギンブナ	6	237.2±133.6	80~423
			カマツカ	カマツカ	カマツカ	22	161.4±34.2	84~209
			ヤリタナゴ	ヤリタナゴ	ヤリタナゴ	1	80	
			ウグイ	ウグイ	ウグイ	13	278.2±125.3	95~403
			ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ	ヤマトシマドジョウ	17	88.8±16.1	53~110
			ナマズ科	ナマズ	ナマズ	7	527.3±62.4	440~605
			ドンコ科	ドンコ	ドンコ	1	73	
		ハゼ科	ヌマチチブ	ヌマチチブ	ヌマチチブ	49	56.6±12.2	17~78
			ウキゴリ	ウキゴリ	ウキゴリ	11	96.0±7.7	88~113
			スミウキゴリ	スミウキゴリ	スミウキゴリ	16	58.8±25.2	35~100
			ゴクラクハゼ	ゴクラクハゼ	ゴクラクハゼ	37	50.1±10.3	32~73
			シマヨシノボリ	シマヨシノボリ	シマヨシノボリ	18	39.0±9.8	31~64
			シロウオ	シロウオ	シロウオ	3	41.3±1.2	40~42
			メダカ科	メダカ	メダカ	9	26.8±5.7	22~37
	サンフィッシュ科		オオクチバス	オオクチバス	9	190.3±29.1	156~231	
	タイワンドジョウ科		カムルチー	カムルチー	1	目視確認		
	ボラ科		ボラ	ボラ	21	119.1±73.9	31~270	
	十脚甲殻類	スズキ科	メナダ	メナダ	4	505.8±17.7	491~528	
			スズキ	スズキ	5	428.0±254.8	179~722	
		ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	ミナミヌマエビ	2	17.1±6.3	12~22	
			ミゾレヌマエビ	ミゾレヌマエビ	304	28.0±3.7	20~36	
			ヒメヌマエビ	ヒメヌマエビ	4	15.9±2.4	13~19	
		テナガエビ科	ヒラテテナガエビ	ヒラテテナガエビ	3	66.0±19.3	45~83	
			ミナミテナガエビ	ミナミテナガエビ	30	66.7±25.0	26~100	
		イワガニ科	モクズガニ	モクズガニ	17	34.3±13.4	9~57	
		2	魚類	ウナギ科	ウナギ	ウナギ	1	450
アユ科				アユ	アユ	2	142.5±17.7	130~155
コイ科				オイカワ	オイカワ	7	89.4±31.4	44~126
				カワムツ	カワムツ	22	34.6±14.3	22~85
コイ	コイ			コイ	数尾	目視確認		
	ドジョウ科			ヤマトシマドジョウ	ヤマトシマドジョウ	2	101.0±5.7	97~105
イシドジョウ	イシドジョウ			イシドジョウ	2	50.0±7.1	45~55	
	ナマズ科			ナマズ	ナマズ	7	515.6±33.0	470~550
アカザ科	アカザ			アカザ	1	91		
ドンコ科	ドンコ			ドンコ	1	132		
ハゼ科	ヌマチチブ		ヌマチチブ	ヌマチチブ	7	88.1±20.4	52~115	
	スミウキゴリ		スミウキゴリ	スミウキゴリ	5	57.4±29.3	35~96	
	シマヨシノボリ		シマヨシノボリ	シマヨシノボリ	33	48.7±11.0	32~71	
	カワヨシノボリ		カワヨシノボリ	カワヨシノボリ	9	36.3±4.6	30~47	
	ヌマエビ科		ミナミヌマエビ	ミナミヌマエビ	19	24.4±4.7	11~31	
			ミゾレヌマエビ	ミゾレヌマエビ	113	29.0±4.2	20~35	
テナガエビ科	ヒラテテナガエビ		ヒラテテナガエビ	8	64.8±19.8	37~95		
	ミナミテナガエビ		ミナミテナガエビ	3	54.4±27.7	35~86		
イワガニ科	モクズガニ		モクズガニ	17	27.9±10.6	12~44		

St\項目	分類群	科	名	標準和名	採集個体数	全長 (カニの場合は全甲幅長)			
						平均全長±標準誤差 (mm)	範囲 (mm)		
3	魚類	コイ科	オイカワ		2	150.0±7.1	145~155		
			カワムツ		12	81.1±48.2	22~166		
			ギンプナ		1	24			
			カマツカ		10	165.5±15.3	136~184		
			ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ	1	115			
			ギギ科	ギギ	5	319.0±33.6	270~350		
			ナマズ科	ナマズ	3	483.3±106.9	390~600		
			ドンコ科	ドンコ	5	97.8±8.9	87~106		
			十脚甲殻類	ヌマエビ科	ヌマチチブ		7	88.1±20.4	52~115
					ゴクラクハゼ		1	91	
	シマヨシノポリ				6	50.2±11.4	39~66		
	カワヨシノポリ				7	42.1±5.5	36~51		
	ミナミヌマエビ				19	27.1±4.1	18~34		
	ミゾレヌマエビ				1	35			
	テナガエビ科	スジエビ			3	61.3±7.1	55~69		
	ヒラテテナガエビ				1	96			
	ミナミテナガエビ				1	72			
	イワガニ科	モクズガニ			11	41.2±9.7	22~52		
	4	魚類	アユ科	アユ		数尾	目視確認		
			コイ科	オイカワ		4	143.3±29.4	100~165	
カワムツ				14	96.9±42.6	39~194			
アブラボテ				1	24				
コイ				20尾以上	目視確認				
イトモロコ				5	60.2±2.9	57~64			
カマツカ				1	163				
ドジョウ科			ヤマトシマドジョウ	4	86.8±11.2	72~99			
イシドジョウ				6	52.5±10.4	38~69			
ギギ科			ギギ	14	145.4±73.0	46~268			
十脚甲殻類		ヌマエビ科	アカザ科	アカザ	1	96			
			ドンコ科	ドンコ	3	75.7±10.1	65~85		
			ハゼ科	シマヨシノポリ	16	56.6±12.3	40~80		
			カワヨシノポリ		11	40.6±5.6	35~51		
			サンフィッシュ科	オオクチバス	1	目視確認			
			ミゾレヌマエビ		2	41.0±8.5	35~47		
			ヒラテテナガエビ		1	83			
			ミナミテナガエビ		3	88.7±3.5	85~92		
			モクズガニ		16	47.2±9.7	24~58		
			5	魚類	ウナギ科	ウナギ		1	691
アユ科	アユ				数尾	目視確認			
コイ科	オイカワ				11	100.6±10.2	33~169		
カワムツ		54			95.5±30.8	33~169			
カマツカ		3			129.3±66.2	55~182			
ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ	2			86.0±17.0	74~98			
ケツギョ科	オヤニラミ	12			61.5±49.3	18~127			
ドンコ科	ドンコ	3			103.3±75.1	59~190			
十脚甲殻類	ヌマエビ科	ハゼ科			シマヨシノポリ	1	50		
		カワヨシノポリ				5	39.8±6.3	31~48	
		クロヨシノポリ			1	77			
		ミナミヌマエビ			3	24.0±3.6	20~27		
		テナガエビ科		ミナミテナガエビ	1	91			
イワガニ科	モクズガニ	5		46.0±12.1	30~57				

St\項目	分類群	科名	標準和名	採集個体数	全長 (カニの場合は全甲幅長)		
					平均全長±標準誤差 (mm)	範囲 (mm)	
6	魚類	コイ科	カワムツ	3	146.0±40.0	110~189	
			タカハヤ	2	目視確認		
	十脚甲殻類	ドジョウ科	イシドジョウ	7	56.1±6.5	47~66	
			アカザ科	アカザ	1	125	
			ドンコ科	ドンコ	9	113.9±45.6	35~153
			ハゼ科	カワヨシノボリ	17	43.1±10.3	28~66
			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	17	24.2±2.5	20~28
サワガニ科	サワガニ	14	17.2±5.9	8~25			
7	魚類	コイ科	オイカワ	11	71.9±11.1	56~87	
			カワムツ	63	61.0±27.4	40~202	
	十脚甲殻類	ドンコ科	ドンコ	7	145.4±22.4	118~178	
			ハゼ科	カワヨシノボリ	17	41.1±8.3	29~52
			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	22	21.2±2.8	15~28
			サワガニ科	サワガニ	7	13.6±8.0	6~28
			イワガニ科	モクズガニ	1	47	
8	魚類	コイ科	オイカワ	18	77.0±24.5	50~130	
			カワムツ	3	161.0±22.7	145~187	
			コイ	30尾以上	目視確認		
	十脚甲殻類	アカザ科	ギンブナ	1	91		
			カマツカ	1	191		
			アカザ	1	60		
			ドンコ科	ドンコ	5	45.0±9.0	37~60
			ハゼ科	カワヨシノボリ	8	44.4±5.9	37~57
			カジカ科	カジカ	13	54.4±21.6	19~78
			サンフィッシュ科	オオクチバス	10	281.0±42.3	240~360
			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	4	29.0±4.2	25~34
サワガニ科	サワガニ	6	12.7±5.5	5~22			
9	魚類	ウナギ科	ウナギ	5	618.4±152.6	452~840	
			コイ科	カワムツ	36	55.5±9.6	32~84
			ドジョウ科	イシドジョウ	15	51.0±7.2	35~62
			ハゼ科	カワヨシノボリ	12	41.6±9.3	30~60
	十脚甲殻類	オオヨシノボリ	オオヨシノボリ	1	87		
			クロヨシノボリ	2	78.5±17.7	66~91	
			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	9	24.6±3.0	21~29
			ヤマトヌマエビ	3	49.3±7.5	42~57	
			サワガニ科	サワガニ	1	6	
			イワガニ科	モクズガニ	22	52.2±4.5	46~63
10	魚類	コイ科	カワムツ	116	71.6±21.9	28~173	
			タカハヤ	9	81.6±8.9	73~98	
			ドジョウ科	イシドジョウ	8	58.5±6.5	50~67
			ハゼ科	カワヨシノボリ	12	43.1±6.7	27~52
	十脚甲殻類	サンフィッシュ科	オオクチバス	1	300		
			ブルーギル	16	136.1±39.5	82~206	
			ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	29	25.5±3.7	17~34
			サワガニ科	サワガニ	4	14.5±5.3	10~22
11	魚類	コイ科	カワムツ	116	71.6±21.9	28~173	
			ドンコ科	ドンコ			
			ハゼ科	カワヨシノボリ	12	43.1±6.7	27~52
	十脚甲殻類	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	29	25.5±3.7	17~34	
			サワガニ科	サワガニ	4	14.5±5.3	10~22

表2 栗野川で確認された魚類と十脚甲殻類

回遊型	標準和名	学名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5	St. 6	St. 7	St. 8	St. 9	St. 10	St. 11	
通し回遊性種	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	○	○			○				○			
	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	○											
	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	○	○		○	○							
	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	○	○	○									
	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	○											
	スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	○	○										
	ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius giurinus</i>	○		○									
	シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. CB	○	○	○	○	○							
	オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. LD										○		
	クロヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. DA						○				○		
	シロウオ	<i>Leucopsarion petersii</i>	○											
	ミゾレヌマエビ	<i>Cardina leucosticta</i>	○	○	○	○								
	ヒメヌマエビ	<i>Cardina seratirostris</i>	○											
	ヤマトヌマエビ	<i>Cardina multidentata</i>										○		
	ミナミテナガエビ	<i>Macrobrachium formosense</i>	○	○	○	○	○							
	ヒラテテナガエビ	<i>Macrobrachium japonicum</i>	○	○	○	○								
	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	○	○	○	○	○			○		○		
	非通し回遊性種	オイカワ	<i>Zacco platypus</i>	○	○	○	○	○		○	○			
		カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウグイ		<i>Tribolodon hakonensis</i>	○											
ヤリタナゴ		<i>Tanakia lanceolata</i>	○											
アブラボテ		<i>Tanakia limbata</i>				○								
ギンブナ		<i>Carassius auratus langsdorfii</i>	○		○						○			
コイ		<i>Cyprinus carpio</i>	○	○		○								
タカハヤ		<i>Phoxinus oxycephalus</i>							○				○	
カマツカ		<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	○		○	○	○				○			
イトモロコ		<i>Squalidus gracilis gracilis</i>				○								
ヤマトシマドジョウ		<i>Cobitis matsubarae</i>	○	○	○	○	○							
イシドジョウ		<i>Cobitis takatsuensis</i>		○		○			○			○	○	
ナマズ		<i>Sirurus asotus</i>	○	○	○									
ギギ		<i>Pseudobagrus nudiceps</i>			○	○								
アカザ		<i>Liobagrus reini</i>		○		○			○		○			
カワヨシノボリ		<i>Rhinogobius flumineus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドンコ		<i>Odontobutis obscura</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
カジカ		<i>Cottus pollux</i>									○			
オヤニラミ		<i>Coreoperca kawamebari</i>						○						
オオクチバス		<i>Micropterus salmoides</i>	○			○					○		○	
ブルーギル		<i>Lepomis macrochirus</i>											○	
メダカ		<i>Oruzias latipes latipes</i>	○											
カムルチー		<i>Channa argus</i>	○											
スズキ		<i>Lateolabrax japonicus</i>	○											
ボラ		<i>Mugil cephalus cephalus</i>	○											
メナダ		<i>Chelon haematocheilus</i>	○											
サワガニ		<i>Geothelphusa dehaani</i>							○	○	○	○	○	
ミナミヌマエビ		<i>Neocaridina denticulata</i>	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
スジエビ		<i>Palaemon paucidens</i>			○									

表3 粟野川で確認された絶滅が危惧される魚類

標準和名	学名	レッドリスト* <sup>1</sup>	レッドデータブックやまぐち* <sup>2</sup>	確認場所
		カテゴリー	カテゴリー	
ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	情報不足 (DD)		St.1、St.2、St.5、St.9
サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>		絶滅危惧 I B類 (EN)	St.1
アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>	準絶滅危惧 (NT)		St.4
ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	準絶滅危惧 (NT)		St.1
ヤマトシマドジョウ	<i>Cobitis matsubarae</i>	絶滅危惧 II類 (VU)		St.1～St.5
イシドジョウ	<i>Cobitis takatsuensis</i>	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II類 (VU)	St.2、St.4、St.6、St.9、St.10
オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>	絶滅危惧 II類 (VU)		St.5
アカザ	<i>Liobagrus reini</i>	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧 II類 (VU)	St.2、St.4、St.6、St.8
カジカ	<i>Cottus kazika</i>	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 I B類 (EN)	St.8
クロヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. DA		絶滅危惧 I B類 (EN)	St.5、St.9
シロウオ	<i>Leucopsarion petersii</i>	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧 I B類 (EN)	St.1
メダカ	<i>Oruzias latipes latipes</i>	絶滅危惧 II類 (VU)	絶滅危惧 I B類 (EN)	St.1
ヒメヌマエビ	<i>Cardina seratirostris</i>		準絶滅危惧 (NT)	St.1

\* 1 : 環境省 (2007/8/3 現在) : レッドリスト汽水・淡水魚類

\* 2 : 山口県 (2002) : レッドデータブックやまぐち